

えどがわ伝統工芸産学公プロジェクト



江戸風鈴 篠原 儀治・由香利
Shinohara Yoshiharu/Yukari

「江戸風鈴」は、江戸時代から作られているガラス風鈴で、振り管が軽く触れただけでも美しい音色が響くよう“ギザギザを残した鳴り口”と、“内側から絵を描く技法”に特徴があります。江戸風鈴の名は、江戸時代から伝わったガラス風鈴が江戸(東京)で作られていることから、昭和40年頃に篠原儀治氏が名付けました。今では孫である由香利氏も家業を継ぎ、伝統柄はもちろん、現代的な絵柄を描いた魅力的な江戸風鈴を次々と生み出しています。

2019年度 新作紹介 (価格記載作品は「[えどコレ!](#)」にて順次販売予定。掲載価格は2020年1月現在の税込価格です。)

桔梗と鷹～花鳥風月～



江戸風鈴 4,400円
デザイン：女子美術大学 伊良原 さや香

プラネタリウム風鈴



江戸風鈴 3,630円
デザイン：女子美術大学 高橋 美桜